

きゅうしゅう

No.19

編集・発行:九州防衛局 総務部
福岡市博多区博多駅東2丁目10-7
福岡第2合同庁舎内 TEL092-483-8811

目次

- 1 航空自衛隊築城基地紹介
- 2 自治体紹介～福岡県築上郡築上町～
- 3 九州防衛局業務紹介
- 4 インフォメーション



手前からF2、F15



関門海峡上空、手前からF2、F15



旧蔵内邸(福岡県築上町)



防衛省
MINISTRY OF
DEFENSE

九州防衛局 Kyushu Defense Bureau

<http://www.mod.go.jp/rdb/kyushu/>



1 ついき 航空自衛隊築城基地紹介

基地司令挨拶



第8航空団司令 兼 築城基地司令 空将補 橋本 進

九州防衛局広報「きゅうしゅう」をご愛読の皆様、こんにちは。築城基地司令の橋本です。

築城基地は、福岡県の小倉から約30km南方の行橋市、築上町及びみやこ町に位置し、戦闘機をもってする防空行動等が主たる任務です。

本基地には、国内で唯一、F2型機及びF15型機の2機種の戦闘機を運用しており、多くの隊員が勤務しています。

築城基地は、福岡県の行橋市、築上町及びみやこ町の1市2町に所在する基地でありますので、地域住民の方々の防衛に対するご理解とご協力を更に拡充するため、基地行事を通じた広報及び基地見学等を積極的に推進する等、あらゆる施策を実施しています。

特に平成22年6月から放送を開始している築城基地の広報ラジオ「ホットスクランブル」は、全国65局のコミュニティFMで毎週金曜日に放送されており、基地の周辺住民の皆様は基地の状況を理解していただくの一助となっております。

また、今では築上町の名物となった築城基地隊員食堂カレーについては、築上町観光協会とタイアップし、地域とのつながりを大切にしたいという思いから、基地のカレーレシピを煮備提供して、平成23年7月に築城基地隊員食堂カレーの商品化につながりました。

その後、更に平成24年7月には、第2弾として築城基地隊員食堂カレー(牛すじカレー)の販売となり、多くの方に愛される商品になっています。

このように築城基地は、地域の方々とのつながりを大切にしながら日々、任務に邁進しています。本広報誌をご愛読の皆様、今後とも築城基地をよろしくお願い致します。

所在部隊紹介

■ 本号では、西日本の空の守りの要として、日々、多様な任務を遂行している航空自衛隊築城基地をご紹介します。

特集記事として、対領空侵犯措置任務など日夜過酷な任務を遂行している第8航空団と、地域とのつながりを大切にする築城基地の広報・イベント行事を取り上げました。



西部航空施設隊第3作業隊
築城基地をはじめとする西日本の各地の基地・分屯基地において各種の土木工事の実務を主任務としています。



築城管制隊
航空機を安全に順序よく離着陸させることを任務としています。



築城気象隊
全国各地の飛行場及び飛行コースの気象状況を把握し、パイロットに情報を提供して、航空機を安全に飛行させることを任務としています。



築城地方警務隊
部内秩序の維持のための犯罪捜査、交通規制及び警護等の保安業務を行っています。



第2高射群第7高射隊
防空網を突破して北部九州に接近する目標を、地对空誘導弾により撃墜する任務にあたっています。

主要機種紹介



F-2



F-15



T-4

第8航空団紹介

第8航空団は、飛行群、整備補給群及び基地業務群で編成され、飛行群は、防空行動及び領空侵犯に対する措置などを、整備補給群は、航空機の整備や車両・器材の支援整備などを、基地業務群は、飛行場の管理や施設の維持補修などを任務としています。

対領空侵犯措置任務 ～日本の空を守る～

対領空侵犯措置任務

対領空侵犯措置とは、外国の航空機が国際法規又は航空法その他の法令の規定に違反してわが国の領域の上空(領空)に侵入した場合に、この航空機を着陸させ、又はわが国の領空から退去させるために講ずる措置のことで、自衛隊法第84条に基づき、航空自衛隊が実施する任務の一つです。

領空侵犯に備えた警戒と緊急発進

航空自衛隊は、全国28か所のレーダーサイトと早期警戒機(E-2C)、早期警戒管制機(E-767)などにより、わが国とその周辺の上空を24時間態勢で監視しています。これにより、わが国周辺を飛行する航空機を探知・識別し、領空侵犯のおそれのある航空機を発見した場合、待機中の航空自衛隊の戦闘機などが緊急発進(スクランブル)し、その航空機に接近して状況を確認し、必要に応じてその行動を監視します。実際に領空侵犯が発生した場合には、退去の警告などを発します。

なお、平成23年度の航空自衛隊機による緊急発進(スクランブル)回数は425回でした。



パイロット紹介

パイロットを目指したきっかけ

幼少の頃からパイロットになりたいという夢があり、航空祭で戦闘機を見て戦闘機パイロットになりたいと思うようになりました。今は、夢を達成できた感覚よりも、より強く日本を守る戦闘機操縦者として訓練に臨んでいます。

対領空侵犯措置任務に従事する者として

初めて緊急発進をした時の緊張は今でもハッキリと覚えています。対領空侵犯措置任務は、国家の威信に関わる重責を担う任務であり、緊急発進が下令されたならば、日本の領空に接近する国籍不明機に対し1秒でも早く、常に慎重かつ冷静な対応で従事していくつもりです。

操縦者としてのやりがい

日々の訓練は、肉体的にも精神的にも決して楽なものではありません。しかし、我々が必要とされる厳しい環境下での任務が国防につながるため、戦闘機操縦者として国防の任務に就けることを誇りに感じています。

家族の理解

自衛官として勤務するうえで、家族の理解はとても重要であり、周りの支えがなくては戦闘機操縦者として勤務することはできません。私は、日本を守ることが、家族を守ることだと考えており、日々私を支えてくれる家族に感謝するためにも、より強い戦闘機操縦者を目指していかなければならないと感じています。



第8航空団飛行群第6飛行隊 2等空尉 江口 健



第8航空団飛行群第304飛行隊 2等空尉 北村 優典

パイロットを目指したきっかけ

小学生の頃に抱いた憧れを胸に操縦者を目指しました。実際に戦闘機操縦者になろうと決めたのは高校1年生の頃だったと記憶しています。その際、狭そうに見える道であるものの、実は誰にでもチャンスがあることを知り、憧れを目標へと変えました。

対領空侵犯措置任務に従事する者として

対領空侵犯措置任務に従事することは、自分が戦闘機に乗り、最前線に立って国防の任務を担うことです。日本国の平和と安全を守るため、その重責に恥じぬよう日々精進し、従事していくつもりです。

操縦者としてのやりがい

なんといっても大空をダイナミックに駆け巡ることです!! こればかりは、言葉だけでは表現しきれないことだと思います。他の職業では経験できない空での疾走は、自分の人生観を大きく変えてくれますし、誇りを持つことができます。

家族の理解

私の念願が叶い、操縦者の職に就くにあたって、父からは、「自分の決めた仕事は、自分で責任を持ってやり抜きなさい。」という言葉ももらいました。母からも同じく理解をもらっており、妻は、今の職に対して尊敬の目で見てくれています。(と言いたいのですが、独身ですので願望です☆)

広報・イベント情報

7月第1日曜日

■つばさ少年剣道大会

小学生剣士による白熱した戦いが毎年繰り広げられます。



7月下旬～8月上旬

■青少年防衛講座

中高生を対象とした1泊2日の体験入隊！！敬礼などの教練動作を学び実際に隊員が働いている職場などを見学します。



8月上旬

■サマーフェスティバル in 築城

隊員による音楽演奏やヒップホップダンスなどを披露し、最後は、全員で盆踊りを踊ります。



12月上旬

■つばさふれあいコンサート

西部航空音楽隊による心温まる演奏をお届けしております。



築城基地航空祭

10月28日(日) 築城基地航空祭が開催されます。航空祭では、F-15などの機動飛行やブルーインパルスの曲技飛行、地上展示では、各種航空機やコックピットの展示などが行われます。



F-15



ブルーインパルス

隊員食堂カレー



築上町観光協会と築城基地が生んだ
“隊員食堂カレー”
築城基地と築上町物産館「メタセの杜」で
販売中！！

ホットスクランブル



福岡県築上町のスターコーンFM (76.7MHz) から築城基地と航空自衛隊の話題などを音楽を交えて楽しく元気に “放送中”

2 自治体紹介



大楠コンサート

毎年10月中旬に、国の天然記念物である「本庄の大楠」の前にステージを設け、クラシックコンサートが開催されます。

福岡県 築上町

自然と歴史・文化を育む・・・
心と体の健康を求めた「豊かな生活の場」
づくりをめざして

築上町長 新川 久三（あらかわ ひさみ）



「築上町」は、平成18年1月10日に「椎田町」と「築城町」の合併によって誕生しました。

築上町は、福岡県東部、周防灘に面し、町の南部は、ほとんどが山林で占められています。城井川をはじめとする多くの河川が、この森を源として流れ下り、北部の平野を潤して周防灘に注ぎます。町の北部を北西から南東にかけて国道10号と椎田道路が貫き、これらと交差して主要地方道や一般県道が整備され、北九州市や大分市などの地方中核都市と連絡しています。空の玄関である北九州空港まで20km圏という恵まれた立地条件にあります。気候は、瀬戸内海気候に属し、比較的温暖で、地震や自然災害の少ない地域です。

築上町は、豊かな自然と歴史にあふれており、年間を通して多くの方が訪れます。中でも樹齢1900年を数える国の天然記念物「本庄の大楠」は、地域文化や長寿の象徴として親しまれています。秋には大楠の前にステージを設け、クラ

シックコンサートも開催されています。また、神楽をはじめとした伝統文化の継承、振興にも力を入れており、町の新たな魅力の発信に取り組んでいます。

築上町には、航空自衛隊築城基地が所在しており、安心・安全のまちづくりを推進するため日頃から基地との連携を重視、毎年「つばさ少年剣道大会」「サマーフェスティバル」「航空祭」「つばさふれあいコンサート」など各種イベントが行われ、地域住民との交流が図られています。また基地の協力のもと「隊員食堂カレー」の味を再現したレトルトカレーの開発・販売を行い、好評を得ています。

また築上町としての歴史は始まったばかりですが、古くから「豊の国」と呼ばれた旧椎田町と旧築城町の歴史や文化を受け継ぎ、合併による強固な行財政基盤の確立と効率的な運営を通して、よりいっそう住民福祉の向上に取組み、希望に満ちた21世紀のまちづくりを推進していきます。



① 網敷天満宮

菅原道真公が京都から太宰府に左遷される折に船が難破し、高塚の浜に漂着しました。この時地元の人たちが船の綱を円座に敷いて迎えたという故事により、国府の命によって社殿が造営され、網敷天満宮といわれるようになりました。境内には1,000本の梅が植えられ、2月には梅祭りが開催されます。

② 旧蔵内邸

県指定文化財で炭鉱王、蔵内次郎作・保房親子の邸宅。炭鉱主住宅として最も古い明治20年(1887)に建築されました。台湾檜や屋久杉など貴重な材料をふんだんに使用し、手のこんだ細工が施された住宅は近代和風建築として規模や内容ともに極めて優れています。

③ 神楽

神楽とは、人々の無病息災や幸福を祈り、また五穀豊穡を神に感謝する舞のことで、築上町には7つの神楽講・保存会があります。各神楽講・保存会は、祭りでの奉納、後継者育成に取り組んでいます。(写真は岩丸神楽講・蛇神楽)

④ 城井川(岩丸川)の桜土手

春を迎えると、ソメイヨシノ約600本1Km以上の桜が道を覆います。この季節は毎年歩行者天国となり、ライトアップされた夜桜も楽しむことができます。



info

10月28日(日)開催の築城基地航空祭に、「築上町観光協会」もブースを設置します。

ご来場された先着30名様に

「がんばろう日本“絆”」ステッカー3枚組(7×5~6.5cm)を
プレゼントします。

築上町観光協会ブースへ
お越しください!!

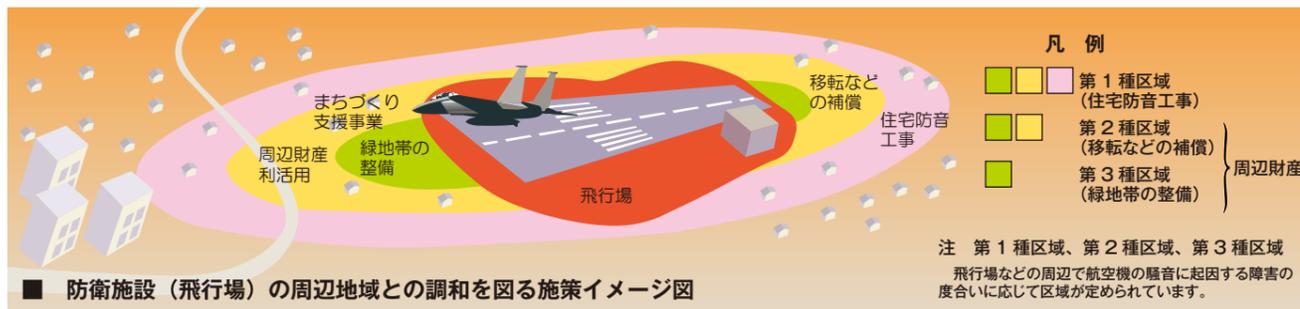


3 九州防衛局 業務紹介

■ 自衛隊や在日米軍が使用する防衛施設は、我が国の平和を守る基盤となるものであり、円滑に使用するためには周辺の皆様方のご理解とご協力が不可欠です。

しかしながら、航空機の騒音や演習場での訓練など、皆様方の生活に影響を及ぼす場合があります。九州防衛局では、防衛施設と周辺地域との調和を図るための施策として、民生安定施設の整備、障害を防止するための工事、学校・病院及び住宅防音工事に対する助成のほか、家屋などの移転補償や緑地帯の整備を行っています。

今回は、防衛施設周辺地域における様々な施策をご紹介します。



■ 防衛施設（飛行場）の周辺地域との調和を図る施策イメージ図

緑地帯整備事業

■ 航空機の音がうるさい区域において、国が買い入れた土地（周辺財産）を緑地帯その他緩衝地帯として整備しています。

整備に際しては、地方公共団体からの要望を取り入れ、周辺環境に応じて芝生、花木、低木などの植栽を行っています。



芦屋飛行場周辺財産（福岡県遠賀郡芦屋町）



鹿屋飛行場周辺財産（鹿児島県鹿屋市）

周辺財産利活用

■ 地方公共団体からの要望を受け、平成16年度から周辺財産の積極的な利活用として、周辺の皆様方が利用できる公園や広場の整備を行っています。



築城飛行場周辺財産／ふれあい多目的広場（福岡県行橋市）



鹿屋飛行場周辺財産／グラウンドゴルフ場（鹿児島県鹿屋市）

築城飛行場における事例 ～築上町「パークゴルフ場」～



■パークゴルフ場（築城飛行場周辺財産）
面積約2万㎡ 18ホール設置

■ 築上町の要望を受け、平成17年度にパークゴルフ場を整備いたしました。毎年10月には大会が開催されるなど、現在までに約3万人の方々にご利用いただき、地域におけるコミュニティーの形成、発展に寄与しています。

民生安定施設整備事業 ～まちづくり支援事業～

■ 主として航空機騒音問題の対応策の一つとして実施しています。

自衛隊等の航空機が飛行場を離着陸する時に生ずる音響によって、周辺の皆様方の生活や事業活動が著しく阻害される場合があります。それらの障害の緩和に資する施設の整備を通じて防衛施設の存在を前提としたまちづくりを地方公共団体が行う場合に、国がその費用の一部を補助し、防衛施設の存在に対する住民の理解を深めることで、防衛施設とその周辺の調和を図ることを趣旨としています。

■ 対象範囲について ■

- 1 対象となる地方公共団体
周辺の皆様方の生活等に与える障害が著しい防衛施設が所在するとして指定された市町村（特定防衛施設関連市町村）が対象です。
- 2 対象となる事業
事業等の内容が次のいずれかに該当するまちづくり事業が対象です。
 - (1) 防衛施設が存在するという地域の特徴を活用し、自衛隊員、米軍人等と防衛施設の周辺地域の住民との文化の交流又は地域における防災等のための活動の促進を企図したまちづくり
 - (2) 飛行場周辺において周辺財産の活用を前提としたまちづくり
 - (3) 防衛施設周辺の市街地又は市街化しつつある地域の活性化又は住民の生活環境の改善につながるまちづくり
 - (4) 当該事業を実施する地域における土地利用計画、都市計画、地域防災計画その他の地域の整備等に関する計画と整合する事業
 - (5) 防衛大臣がまちづくり支援事業等の趣旨に合致するまちづくりとして特に認める事業

築城飛行場における事例 ～築上町「メタセの杜」～

■ 平成14～17年度にかけ、市街地に隣接する周辺財産を活用し、築城飛行場が存在するという特性及び地域の地形や景観を生かしたまちづくりとして築上町が計画した事業に補助しました。

具体的には、地場産業の育成による地域の活性化を推進する核となる物産館や地域交流のための多目的広場を整備し、基地との調和を図りつつ飛行場周辺地域の発展に寄与しています。4ページでご紹介した隊員食堂カレーや地元の果実、野菜等の特産品を販売し好評をいただくなど、地元の皆様をはじめ多くの観光客の皆様にご利用いただいています。



■物産館



■多目的広場

九州風景街道フォトコンテスト最優秀賞

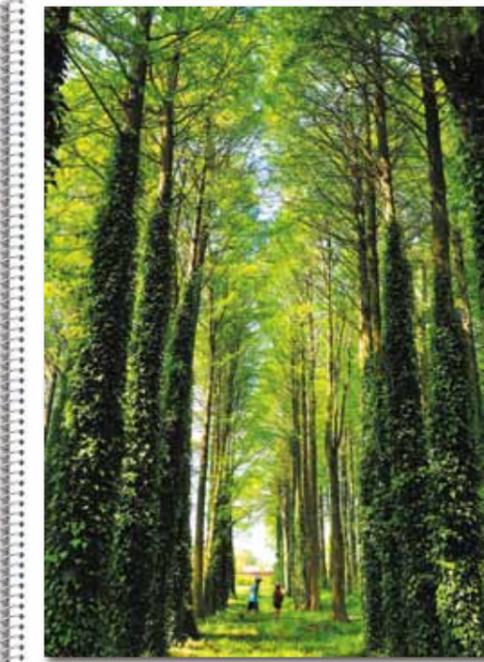
■ 「新緑の下で遊ぶ」
撮影・写真提供 三浦 誠さん（北九州市）

■ 九州地方整備局では、道を舞台に、多様な主体による協働のもと、景観、自然、歴史、文化等の地域資源を活かし、地域活性化を目指した「日本風景街道」の取組みを推進しており、その活動の一環として取組みのPRを目的としたフォトコンテストが実施されました。

この度、築城飛行場周辺財産の緑地帯整備の一環で整備した「メタセコイヤ」を背景とした写真が最優秀賞を受賞されましたのでご紹介いたします。

皆様も、是非、築上町「メタセの杜」へ足を運んでみてはいかがでしょうか。

※メタセコイヤ：スギ科の落葉高木。和名はアケボノスギという。樹幹は、直立し、大きいものは高さ35m、直径2～3mに達する。



撮影場所：メタセの杜（築城飛行場周辺財産）



九州風景街道

検索

Click!

4 インフォメーション

九州防衛局「パネル展」開催のご案内

■ 九州防衛局では、自衛隊の創立記念行事や航空祭などにおいて、ブースを設け、九州北部豪雨における自衛隊の活動や防衛白書についての「パネル展」を随時行っております。
是非、お立ち寄りください。



月日	曜日	基地名	行事の種類	主要所在地
10 28	日	築城基地	築城基地航空祭	福岡県築上町
11 4	日	小倉駐屯地	創立記念行事	福岡県北九州市
11 24	土	芦屋基地	芦屋基地航空祭	福岡県芦屋町
11 25	日	別府駐屯地	創立記念行事	大分県別府市
12 2	日	新田原基地	新田原基地航空祭	宮崎県新富町
12 9	日	国分駐屯地	創立記念行事	鹿児島県霧島市

つち みち あき ひろ

槌道明宏 九州防衛局長 着任あいさつ



■ 九州防衛局広報誌「きゅうしゅう」をご愛読の皆様初めまして。
9月10日付けで九州防衛局長に着任いたしました槌道明宏です。
地方における防衛行政の拠点である九州防衛局の局長という重責を拝命し、非常に身の引き締まる思いです。
ここ九州は古来より大陸との玄関口であり、西の防衛拠点でもあることから、非常に重要な防衛施設が数多く所在しています。これらの防衛施設が安定的に使用できていることは、近隣住民の皆様や地方公共団体の方々のご理解とご協力の賜物だと思えます。この場をお借りして感謝申し上げます。

今後も、九州防衛局は、地域と防衛省の接点として、地域住民の皆様や地方公共団体の方々により一層のご理解とご協力をいただけるよう、職員一丸となって取り組んで参りたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

そのため、防衛施設の安定的な使用にかかる各種施策以外にも、防衛政策や自衛隊の活動などの意義や内容を理解していただくことを目的とした「防衛問題セミナー」や在日米軍の関係者やその家族と近隣の住民の方々やスポーツや文化活動を通じて相互理解を深めていただくことを目的とした「日米交流事業」なども行っております。こうした機会が防衛政策について考えていただく一助となれば幸いです。ご来場をお待ちしています。

九州防衛局では不測の事態に対応するため、夜間・休日を問わず連絡体制を確保しております。

夜間及び休日の連絡先

電話：(092)483-8832 FAX：(092)472-1959

・平日は17時15分から翌朝8時30分まで、
休日は終日。

ご意見・ご感想

TEL 092-483-8813

mail info@kyushu.rdb.mod.go.jp